

令和4年度12月補正予算の事業概要

◎は新規事業
○は拡充事業
単位:千円

職員給与改定費

720,389

一般会計	(11,664人)	720,389千円
小学校職員	(4,962人)	309,308千円
中学校職員	(2,839人)	173,904千円
県立中等教育学校職員	(213人)	12,543千円
高等学校職員	(2,581人)	160,766千円
特別支援学校職員	(1,057人)	63,787千円
その他	(12人)	81千円

[職員給与改定の概要]

- 1 給与改定率 0.28% (給料の改定0.28%)
- 2 勤勉手当の年間支給割合の変更

期末・勤勉年間支給割合	4.30月	→4.40月(0.10月分増)
期末手当	2.40月(据置き)	
勤勉手当	1.90月分	→2.00月(0.10月分増)
12月期	0.95月分	→1.050月(0.10月分増)

※再任用職員は、0.05月分増(勤勉手当の年間支給割合0.90月→0.95月)
 ※会計年度任用職員は、0.05月分増(期末手当の年間支給割合2.50月→2.55月)
- 3 実施時期 令和4年4月1日

特別支援学校教育設備整備事業費(特別支援教育課)

13,687

地域におけるセンター的機能を担う特別支援学校に、必要な機器を新設・更新することで、安心して学習できる体制を整備する。

- 対象校
 - 宇和特別支援学校
 - 整備概要
 - 体育館へのスポットエアコンの新設
 - 大型電気陶芸窯の更新など
- (電源立地地域対策交付金を充当)

◎ 特別支援学校等スクールバス安全対策事業費(特別支援教育課)

7,200

国が策定した「こどものバス送迎・安全徹底プラン」に基づき、特別支援学校等のスクールバスに安全装置を設置する。

- 対象校(8校)
 - しげのぶ特支、みなら特支、今治特支、宇和特支、新居浜特支、新居浜川西分校
 - 新居浜みしま分校、今治東中等
 - 整備内容
 - スクールバスに置き去り防止装置(センサー、警報ブザー等)を設置
- (学校安全特別対策事業費補助金を充当)

◎ 公立学校スクールバス安全対策事業費補助金(保健体育課)

42,980

国が策定した「こどものバス送迎・安全徹底プラン」に基づき、市町立幼稚園等の送迎用バスの安全装置の設置や登園管理システム等の導入に対して支援を行う。

- 送迎用バスの改修支援
 - 補助対象 市町立幼稚園及び市町立小中学校
 - 補助率 国10/10(180千円/台)及び国1/2程度(100千円/台)
 - 登園管理システム導入支援
 - 補助対象 市町立幼稚園
 - 補助率 国4/5(補助上限560千円)
 - ICTを活用した子どもの見守り支援
 - 補助対象 市町立幼稚園
 - 補助率 国4/5(補助上限160千円)
- (学校安全特別対策事業費補助金を充当)

○ 県立学校感染拡大防止対策事業費(保健体育課)

72, 441

学校内での感染経路を遮断するために必要なアルコール消毒液などの保健衛生用品、教室における感染リスクの低減を図るために必要な換気機器を県立学校に整備する。

感染経路の遮断(学校施設の消毒や、手指のアルコール消毒)

次亜塩素酸ナトリウム溶液、アルコール消毒液、ペーパータオル、使い捨て手袋等の購入
換気対策の徹底

CO2モニター、サーキュレーターの購入

(学校保健特別対策事業費補助金を充当)

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当)